

教育委員会だより

令和7年8月21日号 多治見市教育委員会 教育総務課

くめざす子ども像
お互いを尊重し、
主体的に学び、
挑戦する多治見の子

子どもも親も教職員も学び多き夏休みでした

多治見市では、長期休みの期間を利用して、子ども・保護者・教職員を対象とした様々な“学びの場”があり、大変充実した夏休みになりました。

～夏休み得意セミナー～

『得意セミナー』は、児童生徒向け（内容によっては保護者の参加も可）の体験講座で、全7講座に118名の子どもたちが参加してくれました。『科学作品』『まが玉づくり』『書道セミナー』『ポスターを描こう！』『プログラミング講座』など、これらの講座の講師は全て市内の学校に勤務する教職員が務めており、それぞれの得意分野で子どもたちの貴重な体験を支えています。受講後アンケートでは、「とてもよかった・よかった」と回答した割合は99.1%と高評価でした。



～夏休み学習会～

「算数が苦手な学び直しをしたい」と願う児童を対象に、市内の小中学校に勤務している6名のトライボーターが中心となり、「算数学習会」を開催しました。市内3か所の会場に、のべ378名の児童が算数の復習に積極的に取り組んでくれました。また、現在支援を受けている外国籍等児童生徒に対し、外国籍等児童生徒支援員による『学習支援』を行いました。子どもたちはお盆期間を除くほぼ毎日、市役所駅北庁舎の会議室に集まり、支援員のアドバイスを受けながらそれぞれの課題に一生懸命取り組んでいました。

～連合生徒会交流会～

7月31日（木）に『第38回連合生徒会交流会』を開催しました。「よりよい中学校生活を目指すために」をテーマに、8中学校から42名の生徒会役員が参加しました。午前の部は、各校の実践発表や意見交換と即席混合グループによるグループワークを行いました。午後の部は、たじみDMO（多治見市観光協会）から講師をお招きし、「まちづくり」に対する姿勢を通してリーダーとしての意識を高め、これからの人生に生かす研修を行いました。いずれの活動においても、生徒が主体的に力強く自分の考えを発信する姿に頼もしさを感じました。今回の交流の成果



が、生徒の手によるよりよい学校づくりに生かされること間違いなしです！

～夏休み教師塾セミナー～

教職員については『教師塾セミナー』を中心とした研修を実施し、全8講座に226名が参加しました『教員コミュニケーション研修』では、大阪大学名誉教授の小野田正利教授を講師にお招きし、保護者とのトラブルに対する法的知識を基盤とした誠実な対応のあり方をレクチャーしていただきました。その他にも、生成AI研修、ウェブラーニング研修、運動遊び、ロイロノート活用講座等々、各々の教育活動のスキルアップにつながる研修に励みました。



～多治見市子どもの権利セミナー～

7月30日（水）に、多治見市子どもの権利セミナーを開催し、子どもの権利擁護委員の活動報告を通して子どもの権利についての理解や関心を深めることができました。また、講師に不登校ジャーナリストの石井しこう氏をお招きし、「不登校の子が一步を踏み出すとき」と題して講演会を行いました。自ら不登校を経験された石井さんの語りを聞き、不登校に対する新たな視点を獲得することができました。

～市PTA連合会「市長・教育長と語る会」～

8月2日（土）には、市PTA連合会主催の『市長・教育長と語る会』が開催されました。本年度のテーマは「みんなでつくろう『楽しい学校』を実現するために今」と「言われて嬉しかった言葉」。市長と教育委員会事務局をゲストとして、市P連役員がコーディネーターを務めながら各学校のPTA会長さん方が意見交換を行いました。各会長さんからは、それぞれのご家庭での我が子との関わりを中心に熱心な発言がありました。午後は白鷗大学特任教授で元TBSアナウンサーの下村健一氏を講師にお招きし、「情報に惑わされないための4つの想像力スイッチ」という講演会を開きました。世の中にあふれる情報から正しく取捨選択するための方法を、親子で分かりやすく学ぶことができました。



愛知教育大学と市教委が連携協定を締結！

7月28日（月）に、愛知教育大学と多治見市教育委員会との相互連携に関する協定締結式を行いました。これにより、専門性の高い研修（医教連携、特別支援、日本語支援など）を実施して教職員の資質向上を図り、学生による職場体験（インターンなど）を実施して地元の教育に触れ、地元教員を目指す学生の獲得につなげていきたいと思っております。